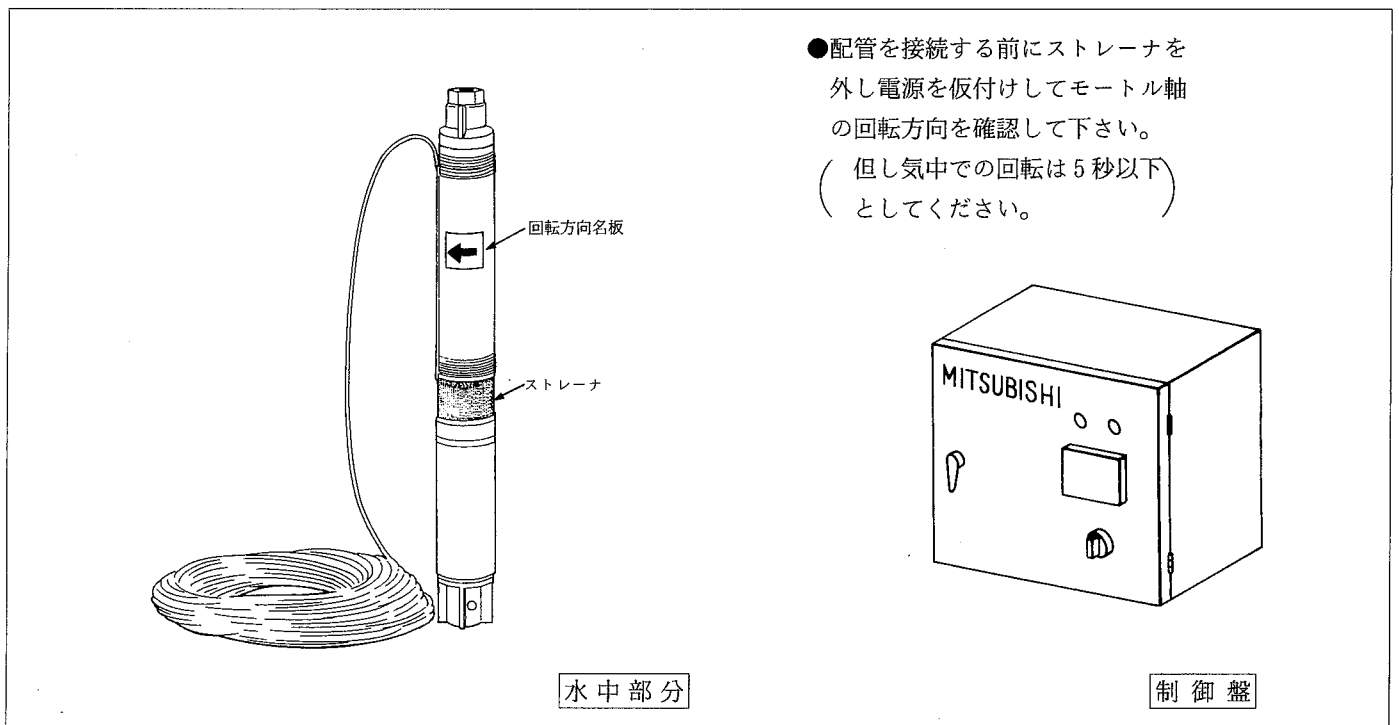


## 三菱多段タービン式水中ポンプ HP-N-B形 〈深井戸用非自動式〉

### 取扱説明書・据付説明書

このたびは、三菱家庭ポンプをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書・据付説明書をよくお読みになり正しくお使いください。  
お読みになった後は大切に保存して下さい。



#### ご注意

このポンプは **水中部分** と **制御盤・付属品** が別梱包になっていますので、それぞれを荷解きされましたら製品をお確かめください。また万一輸送中の破損などがありましたらなるべくはやくお求めの販売店にご連絡されるようお願いいたします。

砂によるポンプの故障（羽根車の摩耗・モートルの拘束）につきましては責任を負いかねますので、揚水中砂上がりのないよう十分注意してください。

● ポンプを正しく安全にお使いいただくために … 1・2	● 水中ポンプ据付図 …………… 7
● 各部のなまえとはたらき …………… 2	● ポンプの据付 …………… 8
● 防寒対策 …………… 3	● 配管工事 …………… 8
● 日常の点検 …………… 3	● 防寒対策 …………… 8
● 保護装置が働いたら …………… 4	● 配線工事 …………… 8
● 仕様 …………… 4	● 結線 …………… 9
● 修理サービスを依頼されるまえに …………… 5	● 運転方法 …………… 10
● 保証とアフターサービス …………… 6	
● 据付時のご注意 …………… 7	

# ポンプを正しく安全にお使いいただくために 必ずお守りください。

この説明書では、安全注意事項のランク「警告」、「注意」として区分しています。

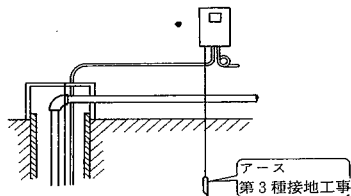
## ⚠ 警告 (取扱いを誤ったばあい、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容)

### 配線・アースは確実に

配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、安全・確実に行ってください。誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。

故障や漏電のとき感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



### 修理は専門業者に

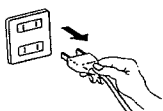
改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



## ⚠ 注意 (取扱いを誤ったばあい、使用者が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容)

### 長期間使用されないときは

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



### 高温部や回転部にさわらない

ポンプやモータ及び凍結防止ヒータに触れないでください。高温になっていますのでやけどの原因になります。また、回転部に触れないでください。けがをすることがあります。



### 電源ケーブル(コード)を大切に

電源ケーブル(コード)を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源ケーブル(コード)が破損し、火災・感電の原因となります。



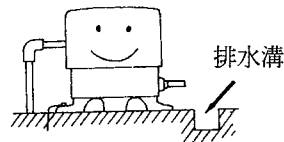
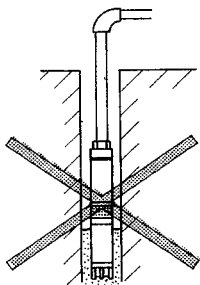
### 排水処理を確認

床面が防水処理・排水処理されているか確認ください。水漏れがおきた場合、大きな被害につながる恐れがあります。



### 空運転はしない

空運転(ポンプに水のない状態での運転)はしないでください。ポンプ内の水が熱湯になりやけど、故障の原因になります。



### 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐ抜く!!

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検・修理をご依頼ください。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。



### ポンプに合った清水で使用する

25℃以上の温水、温泉、汚水や清水以外の液体には使用しないでください。(特に灯油等は爆発の恐れがあります)



- ポンプの点検、修理をされる場合は必ず電源を切ってから行って下さい。

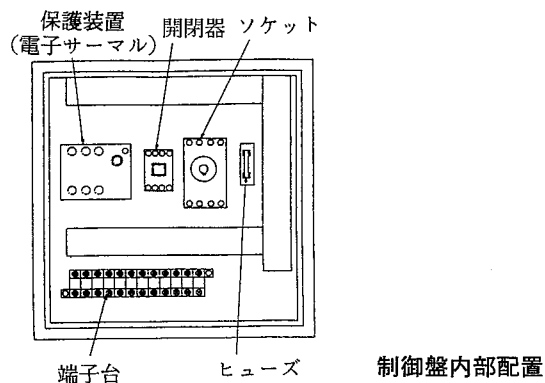
(感電や不意の回転による危険を防止します。)

- 据付前に必ずモートル内部の封入水を確認し減少していたら追加注水してください。

この水中モートルは工場にて封入していますが、保管中や輸送中のモレにより封入水が減少することがありますので、据付前にモートルのL・Fブラケットにあるプラグをはずして封入水を確認し減少していれば清水を追加注入して満水としてプラグを取付後据付してください。封入水が減少したまま運転しますと、軸受の摩耗・焼付という重大事故につながる可能性があります。

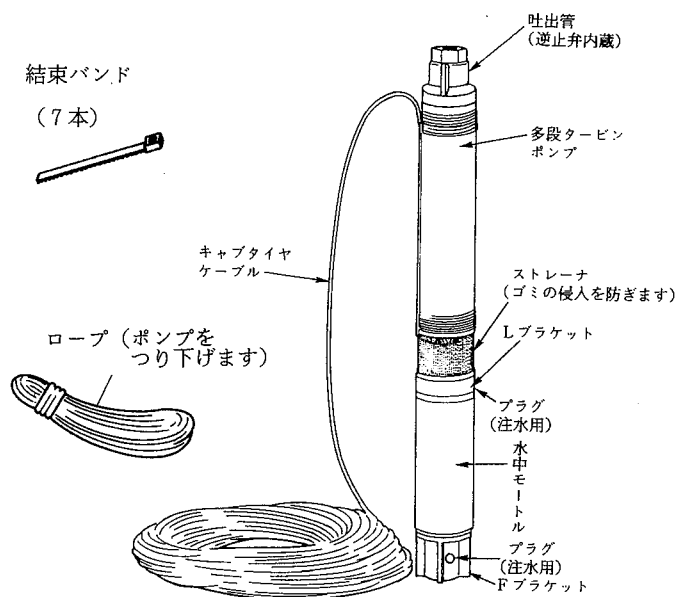
**△ 注意** (取扱いを誤ったばあい、使用者が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容)

- ポンプの締切運転(蛇口を締めて運転)は絶対避けてください。  
(ポンプの周囲の水が高温となり寿命が短くなります。また井戸ケーシングが変形する恐れがあります。)
- 据付前にモートル軸の手回し、回転方向の確認をしてください。据付前にストレーナを外してモートル軸の手回しスムーズに回ることを確認してください。さらに電源を仮付けして回転方向が表示通りか確認してください。(逆転した場合三相ポンプではケーブルの2本を入れ替えてください。)  
モートルの気中運転は5秒以下としてください。  
(回転方向は吐出ケーシングと注意書に表示しています。)
- 浅井戸配管された場合、余ったモートル用のキャブタイヤケーブルはトグロ巻きにせず、折り返して、束ね傷付かない場所に置いてください。(渦電流により異常に加熱した絶縁劣化を早めることがあります。)
- 工事時に工具を井戸内に落さないよう注意してください。 ●水中ポンプは転倒させないでください。  
(ポンプが井戸の途中にある時に上から物を落とすと引き上げできないことがあります。 (軸の曲りが発生し正常に動作しなくなります。))
- できるだけ砂の出ない井戸に据え付け下さい。  
(砂あがりにより拘束や摩耗の原因になります。)
- ケーブルを引っ張ることは絶対にさけて下さい。  
(傷がつくと漏電することがあります。)
- 据付初期に絶縁抵抗が10Ω以上あることを確認して下さい。
- 制御盤の漏電側回路に漏電しゃ断とナイフスイッチ(15A)を設置して下さい。(保守・点検時に便利です。)

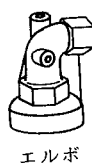
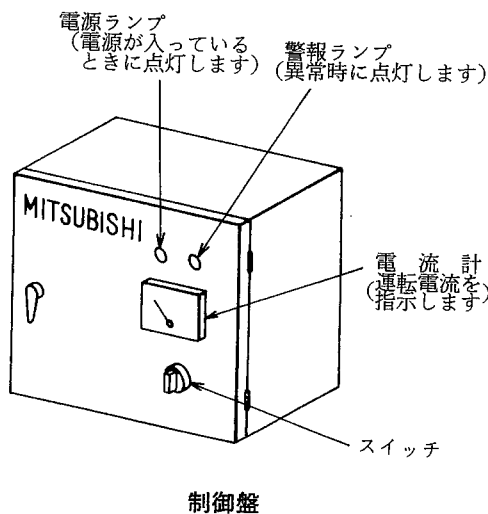


**各部のなまえとはたらき**

＜水中部分＞



- ロープ、結束バンド、ポンプ・モートルが一梱包です。



エルボ



井戸フタ

- 制御盤、エルボ、井戸フタが一梱包です。

## 防寒対策

- 配管の露出部は保温材をまいて、又横引き配管は地中に埋めて保温してください。埋める深さは各地で異なりますが、東京地方で約30cmといわれています。
- 凍結による破損事故については責任を負いかねますので凍結防止は徹底して行ってください。

## 日常の点検

1. 井戸や地上部分の周囲はきれいにしておいて衛生的にしておいてください。

### 保守・点検

- (1) 日頃の点検

電流計の指示は毎日点検ください。但し、起動の瞬間に大きくふくれるのは問題ありません。

電流計の指示は電圧・揚程により変化します。最大負荷点での電流を下表に示します。

50Hz	5 A
60Hz	5 A

- (2) 定期的な点検

1～2カ月に1回程度絶縁抵抗の測定をして異常がないか確認してください。

据付初期10Ω以上一般的には1MΩ以上です。万一0.2MΩ以下に低下した場合には御使用を中止して原因を調査願います。

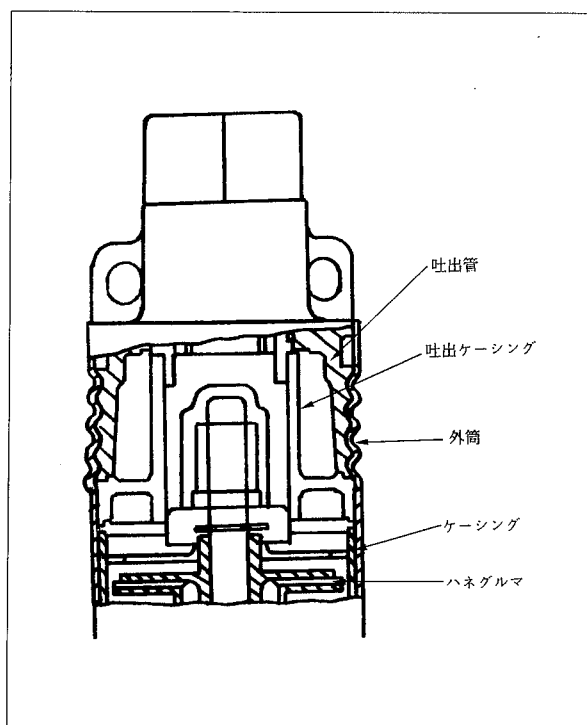
なお、点検の記録は万一の事故発生時の資料となりますので保管してください。

万一の事故等で分解点検される場合には、次のことに注意してください。

2. モートル内部には軸受の潤滑のため、三菱純正液を封入していますので分解等で封入水がなくなった場合は三菱純正液を封入してください。

3. ポンプ部分（ハネ車、ケーシング等）は円筒形の外筒で保持（ネジ締付）する構造です。分解時に外筒が変形しますと再組立が出来なくなりますので変形しないよう注意してください。（外筒を分解、再組立される場合はベルトレンチ等の外筒外周に等分に力の加わる工具を外筒ネジ締付部分にかけてご使用ください。）

なお、ネジ部はシールのためシールテープを1～2回巻きつけてから手で仮組み後、外筒ネジ部分にベルトレンチ等で増し締めしてください。シール剤をお使いになる場合は飲料水に混入しても毒性のないものをご使用ください。



## 保護装置が働いたら

制御盤内には保護装置（電子サーマル）を設けています。これは運転中の異常電流（例えば電圧低下、異物噛み込み）や負荷側の欠相（3相の1つの相が切れる）または、据付初期の電源側との接続異常（反相……電源のR、S、Tの順序が違ふ）時に動作してモートルを停止します。この時盤表面の警報ランプ（赤色）も点灯します。

警報ランプ（赤色）が点灯した場合には、電子サーマル自体の表示灯（赤色LED）も点灯しますので、盤内部を点検ください。（電気がさいているときの通電チェックは感電に十分注意ください。）

保護装置（電子サーマル）動作時表示灯（赤色LED）表示内容

動作条件	表示灯（赤色LED）
過負荷	連続点灯
欠相	1秒周期でON、OFF
反相	0.2秒周期でON、OFF

- 始動時に始動電流により、表示灯が点灯することがありますが故障ではありません。
- 動作電流は工場出荷時6Aに設定しています。設定変更はしないでください。

- 反相時には電源側電線の3本のうち2本を入れ替えてください。

据付直後にはこの反相保護になる場合が多い為特にご注意ください。  
また反相の処置後でも圧力が低い等の現象が発生しているときはモートルが逆転している場合がありますので6ページの回転方向の確認を行ってください。

## 仕様

項目		形名	HP-N3905B/3906B	
ポンプ	種類		多段タービンポンプ	
	全揚程	m	57 (最大吸上高さ 45m)	
	揚水量 (全揚程)	L/分 (m)	55/60 (45)	45/50 (57)
	配管径	mm (B)	25 (1)	
モートル	種類		キャンド式水中三相モートル	
	出力	W	900	
	電源	V	三相 200	
	周波数	Hz	50/60	
	絶縁		E種	
	保護装置		電子サーマル	

# 取扱説明書

## 修理サービスを依頼されるまでに

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ電源を切って下表により故障内容をチェックして販売店・工事店またはサービスセンターへご相談ください。このときポンプの形名をお忘れなくお知らせください。

◎ 点灯      ● 消灯

故障内容	表示			原因	処置
	電源	警報	保護装置 (電子サーマル)		
ポンプが回らず うなり音がない	●	●	●	停電	電力会社に連絡してください。
	◎	●	●	電圧低下	販売店・工事店へ修理を依頼ください。
	◎	●	●	ヒューズの切れ	
	●	●	●	端子台のネジのゆるみ	締付を完全にしてください。
	●	●	●	断線	販売店・工事店へ修理を依頼ください。
	◎	◎	◎	電子サーマルの動作	水位の回復を待ってください。
	◎	●	●	フロートなしスイッチの動作 (追加してある場合)	
ポンプが回らず 警報が点灯	◎	◎	◎	電圧が低い	販売店・工事店へ修理を依頼ください。
	◎	◎	◎	モートル故障	
	◎	◎	◎	ポンプ部分に異物噛み込み	
	◎	◎	◎	水没深さが深すぎる	
モートルは回る が揚水しない	◎	●	●	揚水管よりの水漏れ	販売店・工事店へ修理を依頼ください。
	◎	●	●	水面が下がりポンプが空運転している	
	◎	◎	●	逆回転している	
揚水量や 圧力が低い	◎	●	●	電圧が低い	販売店・工事店へ修理を依頼ください。
	◎	●	●	異物詰まり	
	◎	●	●	羽根車の摩耗	
揚水するが 警報ランプが すぐ点灯し 停止する	◎	◎	◎	電圧低下	販売店・工事店へ修理を依頼ください。
	◎	◎	◎	モートル故障	
	◎	◎	◎	ポンプに異物噛み込み	
	◎	◎	◎	ポンプの水没深さが深い	
	◎	◎	◎	制御盤の故障	
	◎	◎	◎	回転部の摩耗	
	◎	◎	◎	モートル注水不完全	

## 保証とアフターサービス

## ■ 保証書（別添付）

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。  
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間 … お買上げ日から1年間。

## ■ 補修用性能部品の最低保有期間は

家庭ポンプの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後約8年間です。この期間は、通産省の指導によるものです。性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ つぎのような場合は運転を停止し、お買上げの販売店にご相談ください。

- ご自分での修理は、危険な場合がありますから、絶対にしないでください。
- 右記の症状や異常がない場合でも4～5年お使いの製品は、安全のため点検をご依頼ください。
- 修理点検は有料となります。

## ■ 修理を依頼されるときは

不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

## ● 保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。

保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

## ● 保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金は、技術料+部品代（出張料）などで構成されています。

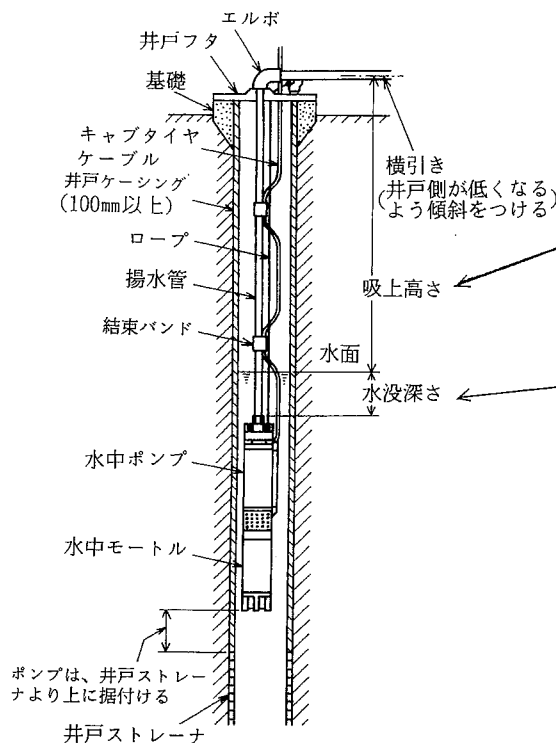
- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- 水を使用していないのに、ポンプが運転する。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。（ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など）
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

# 据付説明書

## 据付時のご注意

1. このポンプの使用できる吸上高さは各機種（モートル出力）によって異なりますので下の表の範囲内で運転できるように据付けてください。
2. 井戸内径はポンプ部分を入れますので100mm（4 B）以上必要です。
3. 井戸ケーシングの曲がり大きいと据え付けや引き上げが困難になります。  
また接続部のカエリはないようにしてください。（ポンプのケーブルなどを傷つけることがあります。）
4. 吐出ケーシングに内蔵している逆止弁は水抜き穴を持っていますのでポンプ停止時は揚水管内の水は時間の経過後は落ちます。
5. ポンプは必ず井戸ケーシング内に据付けてください。また、堀抜井戸の場合は、ポンプと井戸の側面（岩・コンクリート等）が接触しないように据付けてください。ポンプの損傷の原因となります。
6. 井戸フタは水平に基礎を作り基礎ボルトでしっかりと固定してください。
7. 揚水管の地上の立ち上がりには逆止弁と仕切弁を取付けてください。
8. 渇水時と豊水時とでは井戸の水位が大きく変わる所がありますから渇水時の水位を確かめてください。
9. ポンプの揚水量が井戸の湧水量を越える場合、極端に水位が下がり、ポンプが空運転状態となります。故障の原因になりますので湧水量は十分お確かめください。
10. ポンプと井戸ケーシングのストレーナ部が一致しますと砂揚りが促進されますのでポンプは井戸ケーシングのストレーナ部より上部にくるよう据付けてください。
11. 揚水と共に砂が上がるような場合、ポンプ内部の摩耗が早くなるだけでなく、ポンプを拘束し故障の原因になりますので十分井戸さらえ後据付けてください。
12. 井戸ケーシングが塩ビ管の場合は「J I S K 6741硬質塩化ビニル管のVP管」をお使いください。VU管では万一の場合変形してポンプの引き上げができなくなることがあります。
13. モートル内部には軸受の潤りのため三菱純正液を封入していますので、分解等で封入水がなくなった場合は三菱純正液を封入後運転してください。
14. 据付前にモートル軸の手回し、回転方向の確認をしてください。据付前にストレーナを外してモートル軸を手回ししスムーズに回ることを確認してください。さらに電源を仮付けして回転方向が表示通りか確認してください。（逆転した場合三相ポンプではケーブルの2本を入れ替えてください。）モートルの気中運転は5秒以下としてください。
15. 井戸フタは丈夫な基礎を設けてその上に設置ください。その際に水平に据え付けられるよう注意し、基礎ボルト（4カ所）でしっかりと固定してください。なお基礎は全体の重量に耐えられるような構造としてください。

## 水中ポンプ据付図



■吸上高さ和水没深さ

項目	形名	HP-N3905B/ 3906B
吸上高さ		45m以下
水没深さ	浅い限界	1m以上
	深い限界	40m以内

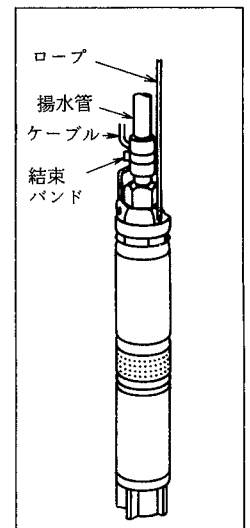
### ご注意

1. 揚水管の横引きが長い場合は吸上高さが減少しますので注意してください。この場合の目安として、横引き10mに対し、吸上高さが1m減少するとして据付けてください。
2. 水没深さが深すぎるとモートルが起動できないことがあります。



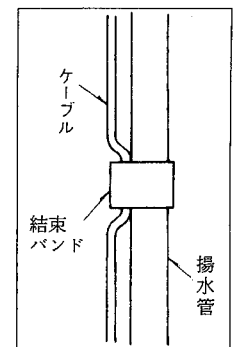
## ポンプの据付

1. ロープの一端をポンプ吐出ケーシング部に結びます。(ほどけないよう注意)
2. ポンプより上部へ配管します。
3. ケーブルのポンプ出口部分は揚水管に結束バンドで固定し膨らまないようにしてください。(膨らむとポンプを井戸内に入れる時ケーブルが傷付くことがあります。)
4. ケーブルを固定する為付属の結束バンドで揚水管に6m毎に固定しケーブルに張力がかからないようにしてください。
5. ロープにポンプ重量をもたせ徐々にポンプをつり下げ配管を継ぎたしながらポンプを水中に入れます。
6. ポンプは揚水期水面を考慮して据付けてください。但し水没深さが深すぎると水圧により起動不良になることがありますので注意してください。(水没深さは3ページを参照ください。)
7. ロープを十分張らせ渡し木に結びつけますが、ロープは初期に若干伸びますので据付後2～3日してから締め直してください。
8. 本体にテープにて貼り付いている注意書は必ずご一読後はずしてください。



## 配管工事

1. 吸込管は鋼管をご使用ください。(三相電源のポンプは起動トルクが大きいので塩ビ管は長期のご使用時に破損する恐れがあります。)
2. 水の出をよくするため配管はなるべく曲り箇所を少なくかつ最短距離となるように配管してください。横引きがあるときは横1mにつき3cm以上の傾斜をつけ井戸側を低くしてください。
3. 管の継目は漏れないよう注意してください。
4. 将来枝管を出す予定のところはT字管をつけプラグで栓をしておくとう便利です。
5. 冬の凍結防止のため配管はなるべく地下に敷設してください。ただし土を覆う前に試運転し水漏れの有無を確認してください。



## 防寒対策

水中ポンプは大切なポンプ、モートル部分が井戸水中にあるので凍結する心配はありませんが、配管をそのまま放置しますと内部の水が凍って破損することがありますので、裏面の取扱説明書の「防寒対策」の項をご参照のうえ、必ず行なってください。

※凍結による破損事故については責任を負いかねますので、凍結防止対策は徹底して行ってください。

## 配線工事

1. 制御盤は必ず屋内に設置してください。(水がかかると絶縁性能が低下します。)
2. 湿度の高いところは避けてください。
3. 周囲温度が-10～40℃にて御使用ください。
4. 電気設備技術基準及び内線規定に従い安全に工事を行ってください。
5. 端子台の接続は確実に行ってください。(ネジ止めがゆるいと漏電や火災の原因となることがあります。)
6. アースは確実にとってください。(万一の場合の漏電保護になります。)
7. フロートなしスイッチ等をつける場合はそれぞれの取扱説明書により工事ください。
8. 漏電しゃ断器を設置してください。
9. 専用配線を行ってください。
10. モートルのケーブルを重ねて使用すると温度があがり危険になることがありますので重ねないでください。
11. モートルのケーブルを延長すると電圧降下により正常に運転できなくなる恐れがありますので絶対避けてください。

# 据付説明書

## 結線

1. 圧力スイッチと組合せる場合はP 1とP 2の端子に圧力スイッチ（AC200V用）を接続してください。スイッチを「自動」にしておくと圧力スイッチでの起動／停止をすることができます。
2. 水位制御を行う場合は、ソケットの部分にフロートなしスイッチ（オムロン社製6 1 F-G P形）を用い電極と組合せて行うことができます。

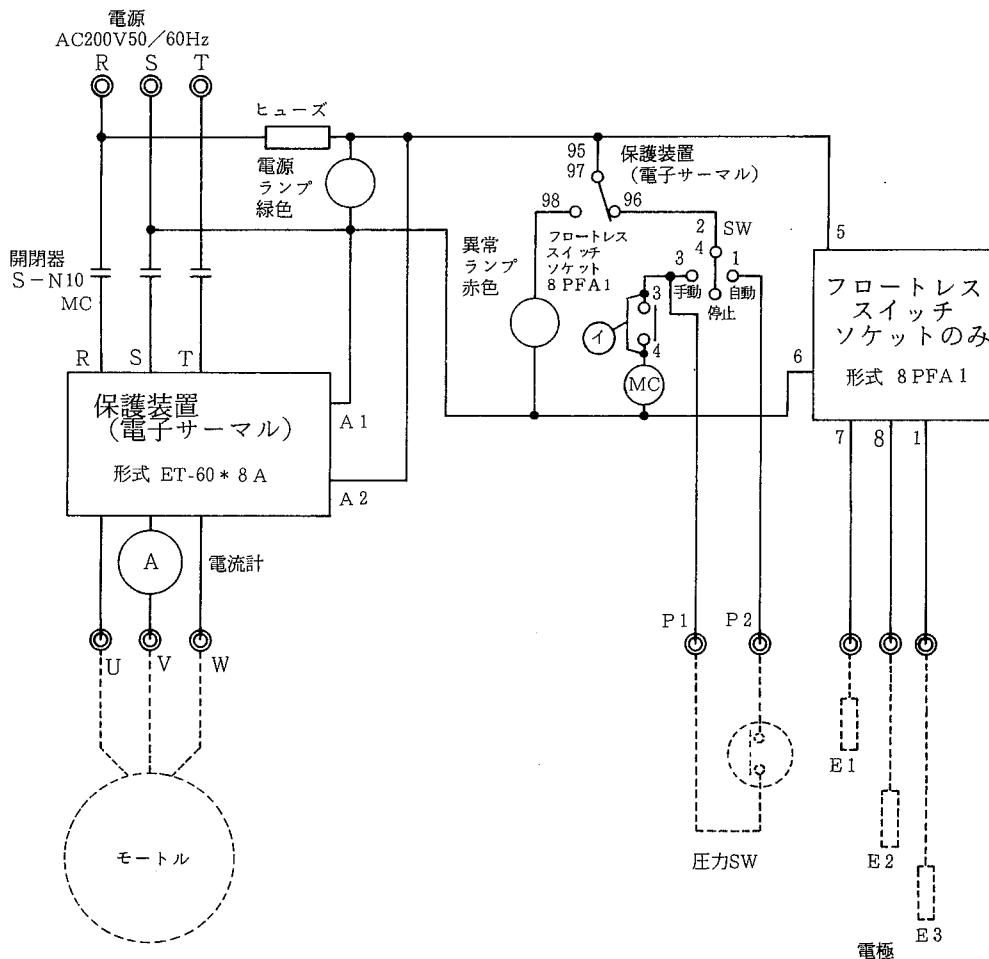
下図にその1例を示しています。（井戸の空運転などを防止する場合の1例です。）

E 1、E 2、E 3に電極を接続します。E 3をコモンとしてE 2を停止、E 1を運転とする水位制御の場合です。

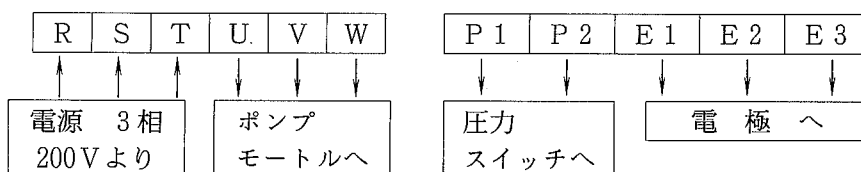
（水位制御を行なう場合はソケットの端子NO 3、4間の接続線（下図④の箇所）を外してください）

※フロートなしスイッチ、ケーブル、電極はそれぞれの条件にあわせオムロン社より購入ください。

### <結線図>



### 端子構成



## 運 転 方 法

### 試 運 転

#### 1. 電源を入れるまえに

(1) 絶縁抵抗を確認ください。据付初期10Ω以上一般的には1Ω以上であれば正常です。

使用時に0.2MΩを下回る様な場合になると何等かの異常が生じていますので使用を中止して原因を調査ください。

(2) 端子台の接続部にゆるみや誤りがないか再度確認ください。

#### 2. 配管の空気を抜くために仕切弁は締切より若干開いてください。

#### 3. 電源を入れます。

スイッチを手動側に切換ると運転します。

#### 4. 回転方向の確認します。

逆転している場合には次のような現象になります。

- 電流値は大きいのに揚水しないまたは揚水量が少ない。
- 圧力指示が低い。

逆転時にはモータルの結線の3本のうち2本を入れ替えて揚水量が多くなれば正常です。

#### 5. 仕切弁を少しずつ開いてください。急に全開にしますと井戸内部の砂層を崩したりして砂噛み込みの原因になります。

電圧・電流・圧力値に注意しながら仕切弁を開いてください。

#### 6. 揚水した水をバケツ等のため、揚水された水の中に砂がないか調べます。

#### 7. 万一砂が多量にでる場合はしばらく運転し井戸が安定するかどうか確認してください。砂のあがりが続く場合には、井戸さらえをお奨めします。

#### 8. 停止時の注意

仕切弁を閉じてから電源を切ってください。

### ご 注 意

- 3～4日間以上、水を使用されなかった場合など、ポンプ部内の水が濁っていることがあります。このような場合には、しばらく排水して、水がきれいになってからご使用ください。

ご不審の節はもよりのサービスセンターへご照会ください。

### 三菱電機サービスセンター

三菱電機サービスセンター本社	東京都世田谷区池尻3-10-3	☎154 東京 (03) 3424-1111
東京機電サービスセンター	東京都港区海岸3-19-22	☎108 東京 (03) 3454-5521
相模原機器サービスステーション	相模原市宮下2-21-2	☎229 相模原 (0427) 79-9711
千葉機器サービスステーション	千葉市都町1289-1	☎260 千葉 (043) 232-6101
神奈川機器サービスステーション	横浜市中区山下町71	☎231 横浜 (045) 664-0251
関東機器サービスステーション	大宮市吉野町2-173-10	☎330 埼玉 (048) 652-0378
新潟機器サービスステーション	新潟市東大通2-11-28	☎950 新潟 (025) 241-0301
関西機電サービスセンター	茨木市豊原町10-18	☎567 茨木 (0726) 41-0441
大阪機器サービスステーション	大阪市福島区海老江5-5-6	☎553 大阪 (06) 458-9728
堺機器サービスステーション	堺市九間町西1-2-29	☎590 堺 (0722) 29-5992
京都機器サービスステーション	京都市南区西九条東柳ノ内町47-1	☎601 京都 (075) 672-0144
神戸機器サービスステーション	神戸市兵庫区御所通1-1-27	☎652 神戸 (078) 651-0332
姫路機器サービスステーション	姫路市北条218番地	☎670 姫路 (0792) 81-1141
中部機電サービスセンター	名古屋市東区矢田南5-1-14	☎461 名古屋 (052) 722-7601
静岡機器サービスステーション	静岡市日出町2-1	☎420 静岡 (054) 255-3007
浜松サービスステーション	浜松市上西町62-5	☎435 浜松 (053) 463-8455
九州機電サービスセンター	福岡市博多区那珂1-4-28	☎816 福岡 (092) 411-7400
北九州機器サービスステーション	北九州市八幡西区竹末2-7-3	☎806 北九州 (093) 642-8825
長崎機器サービスステーション	長崎市神ノ島町1丁目343-1	☎850 長崎 (0958) 65-3667
北海道サービスセンター	札幌市中央区北2条東13-25	☎060 札幌 (011) 221-8495
東北サービスセンター	仙台市大和町2-18-23	☎983 仙台 (022) 238-1761
北陸サービスセンター	金沢市小坂町北255	☎920 金沢 (0762) 51-0559
中国サービスセンター	広島市南区大州4-3-26	☎732 広島 (082) 285-2111
福山機器サービスステーション	福山市緑町1-66	☎720 福山 (0849) 22-2806
倉敷サービスステーション	倉敷市連島町連島445-4	☎712 倉敷 (0864) 48-5532
四国サービスセンター	高松市花園町1-9-38	☎760 高松 (0878) 31-3186



三菱電機株式会社

〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3 (三菱電機ビル)

お客さまへ

おぼえのために、お買上げ年月日、お買上げ店名などを記入してください。

お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店名 (住所) (電話番号)	